2024年高等学校生徒セラミック作品展

全国のセラミック科設置の高校より、生徒の作成した作品を出品いただき、
ホームページ（https://www.ceramic.or.jp/about/education.html#artwork）で紹介しています。

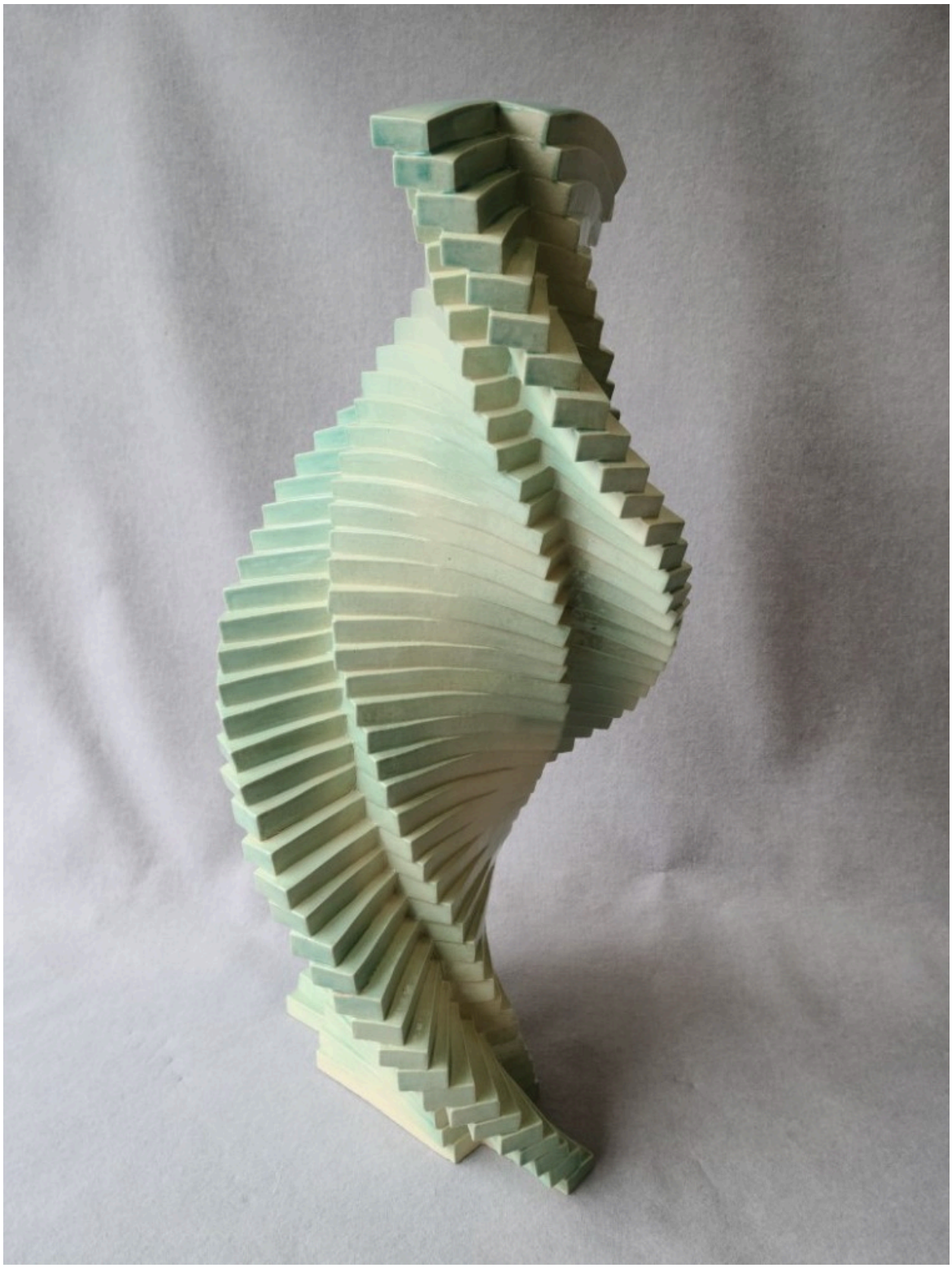
	№	作品名	所属	氏名	ページ
	01	「ボルケーノ」 ランプシェイド	滋賀県立信楽高等学校	杉村大樹	2
優秀賞	02	二重螺旋階段	佐賀県立有田工業高等学校	三根大和	3
最優秀賞	03	超絶ファビュラスなドレス	佐賀県立有田工業高等学校	吉本ここね	4
	04	自然	佐賀県立有田工業高等学校	福田翔	5
	05	亀の親子の土鍋	佐賀県立有田工業高等学校	内山敏仁	6
	06	CERA FORCE1	岐阜県立多治見工業高等学校	勝野凌成	7
	07	桃鯨（ももくじら）	岐阜県立多治見工業高等学校	稲垣風牙、河村大伸、中野美咲、森下胡桃、山下漣	8
	08	風凪（かざなぎ）	福島県立会津工業高等学校	渡邊人	9
優秀賞	09	翠苔（すいたい）	福島県立会津工業高等学校	石井希	10
	10	好きにして	大阪府立泉尾工業高校	柴田亨	11
	11	小物入れ	大阪府立泉尾工業高校	山本蒼	12
	12	生けて下さい	大阪府立泉尾工業高校	西山心	13
	13	” ”のサカナ	大阪府立泉尾工業高校	小倉健哉	14
	14	にじ	大阪府立泉尾工業高校	大伴幸希	15
	15	陶器街～セラミックで彩るジオラマ～	愛知県立瀬戸工科高等学校	寺西裕也	16
	16	天気模様「夕晴れ」「雨曇り」「月溶け」	愛知県立瀬戸工科高等学校	新井快朋	17
	17	異形頭	愛知県立瀬戸工科高等学校	渡辺優奈	18
	18	貝殻釉薬を使った焼き物の製品化	愛知県立瀬戸工科高等学校	新井快朋、三輪さくら、武田妃奈乃、川﨑喜貴、野村柊登	19-20

01	**「ボルケーノ」 ランプシェイド**	**滋賀県立信楽高等学校**	**杉村大樹**

滋賀県立信楽高等学校　総合学科　セラミック系列

作品題名「ボルケーノ」　ランプシェイド　　名前　「木村　大地」

02	二重螺旋階段	佐賀県立有田工業高等学校	三根大和



03	超絶ファビュラスなドレス	佐賀県立有田工業高等学校	吉本ここね

04	自然	佐賀県立有田工業高等学校	福田翔

05	亀の親子の土鍋	佐賀県立有田工業高等学校	内山敏仁

06	CERA FORCE1	岐阜県立多治見工業高等学校	勝野凌成

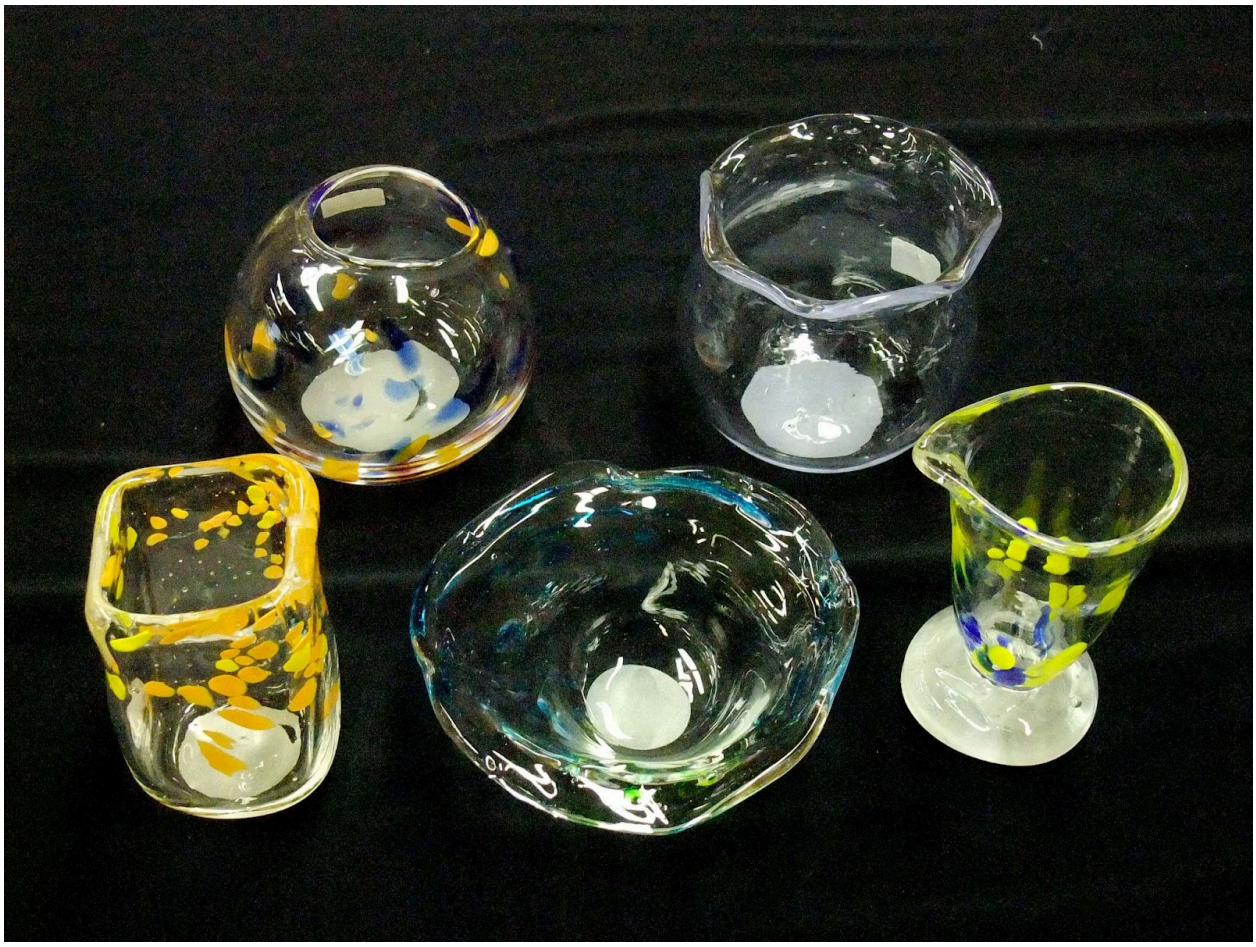
07	桃鯨（ももくじら）	岐阜県立多治見工業高等学校	稲垣風牙、河村大伸、中野美咲、森下胡桃、山下漣

08	風凪（かざなぎ）	福島県立会津工業高等学校	渡邊人

09	翠苔（すいたい）	福島県立会津工業高等学校	石井希

10	好きにして	大阪府立泉尾工業高校	柴田亨

11	小物入れ	大阪府立泉尾工業高校	山本蒼

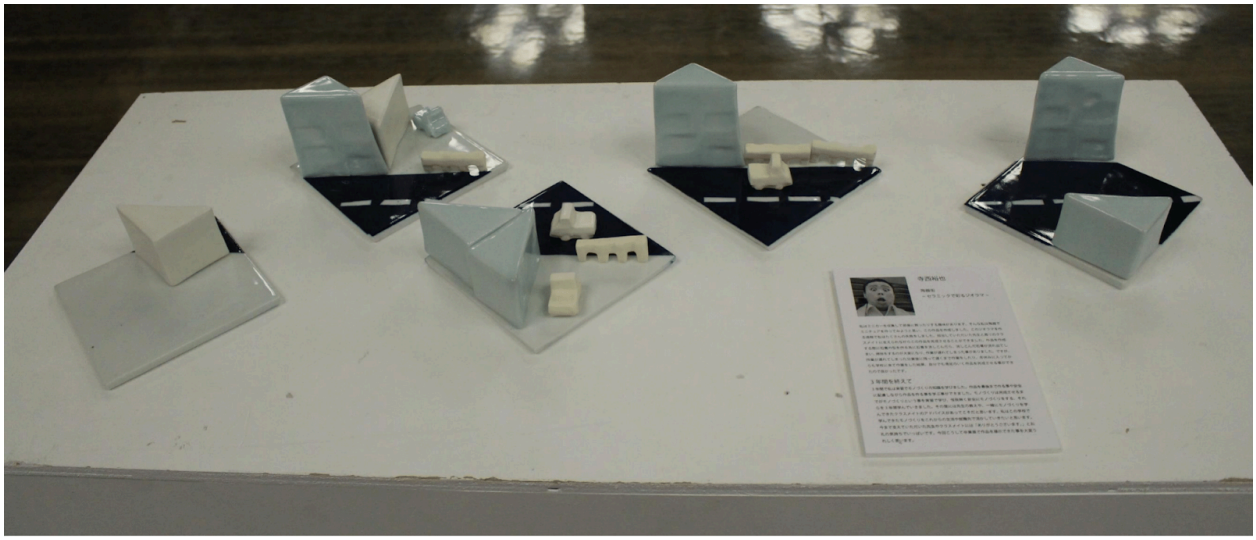


12	生けて下さい	大阪府立泉尾工業高校	西山心

13	” ”のサカナ	大阪府立泉尾工業高校	小倉健哉

14	にじ	大阪府立泉尾工業高校	大伴幸希

15	陶器街～セラミックで彩るジオラマ～	愛知県立瀬戸工科高等学校	寺西裕也



16	天気模様「夕晴れ」「雨曇り」「月溶け」	愛知県立瀬戸工科高等学校	新井快朋

17	異形頭	愛知県立瀬戸工科高等学校	渡辺優奈

貝殻釉薬を使った陶器の製品化

新井快朋　川崎喜貴　武田妃奈乃　野村柊登　三輪さくら

課題の考案

環境問題をテーマにしたい！

調べていく中で昨年の課題研究の
貝殻釉薬というものを発見
↓
貝殻の廃棄問題を解決する釉薬

課題の決定

貝殻釉薬良い研究なのに
製品化・発信の目標未達成…

⇒じゃあ自分たちが
製品化、発展・発信をしよう！

コンセプトの決定

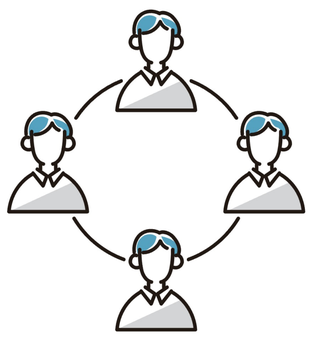
お店と協力する
循環型製品の発信

1.廃棄予定だった 貝殻をもらう

2.釉薬の研究・実験

3.貝殻釉薬を使用した
製品を販売

4.多くの人に知ってもらう



活動内容の決定

●**貝殻釉薬製作**

●**製品制作**

●**発信活動**

3つに分業して活動していこう！

釉薬製作

1　釉薬にする貝殻を回収する

瀬戸市内の飲食店に約10件問い合わせその中から唯一
美食一心様にご協力いただけることになりました！

学校内でも回収すれば
学校内での『貝殻釉薬の発信』になるのでは!?

→貝殻回収の手紙の配布・貝殻回収BOXを設置

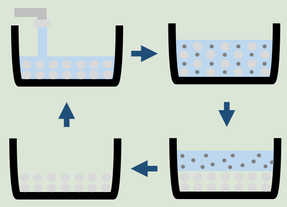
2　貝殻を釉薬にする

①貝殻焼成　　：貝殻を焼成し不純物（有機物）を取り除く
②粉末状にする：貝殻をすり潰しふるいにかける
③調合　　：牡蠣殻灰・天草陶石・福島長石などを調合
↓
失敗　施釉後少し経つとペリペリ剥がれ落ちてくる

3　原因を考える

貝殻に含まれるアルカリ成分が原因…？
→水簸(すいひ)をしアルカリ成分を取り除く

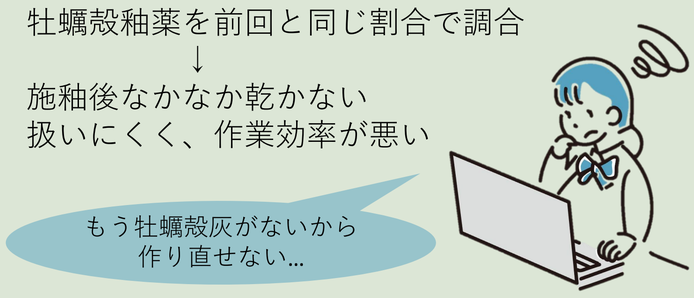
4　水簸をする



貝殻の灰に水を加える
↓
アルカリ成分が溶け出す
↓
灰を沈殿させる
↓
上水を捨てる

5　調合し直す

牡蠣殻釉薬を前回と同じ割合で調合
↓
施釉後なかなか乾かない
扱いにくく、作業効率が悪い



そこでアサリ＆しじみの灰を使おう！

でも実験する時間がない…

→学校で使用している青磁釉の
灰の成分を置き換えて調合
→安定しつつ扱いやすい

製品にはアサリ＆しじみ釉薬を使う

製品制作

1　デザインを決める

・15cm程度の平皿
・貝殻モチーフのデザイン

→ 巻貝を感じさせるデザインに決定

2　型をつくる

粘土原型をつくる
↓
片面ずつ石膏型をつくる
↓
二面割型 完成

3　簡易圧力鋳込みで量産

4　イッチンで模様を施す

5　乾燥・施釉・焼成

↓

完成！

発信活動

1　どうすれば貝殻釉薬を発信できるかな…

そこに**ZIP-FM様からコラボ依頼が！**

私たちの班は依頼を引き受けさせていただき
ポッドキャストへ出演することになりました！

また、貝殻釉薬を施した製品を
ZIP-FM OFFICIAL STOREにて2月末頃販売予定です！

2　ポッドキャストタイトル決め

タイトル　　：高校生の焼物語
サブタイトル：焼き物で解決する環境問題

3　ポッドキャストサムネイル制作

班員をモチーフに
アイビスペイントXで制作

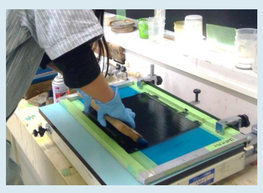
4　収録

学芸員　：佐久間さん
専攻科　：北村先生
担当教員：木下先生
班生徒　：新井・三輪　の計5人が収録に参加

5　コラボマーク

製品の裏面につけるコラボマークを制作
シルクスクリーンで転写紙を制作

Setokouka High School
Hand Crafted
Collaborated with ZIP-FM 77.8



最後に

ZIP-FM様とのコラボ製作を通して、目標であった貝殻釉薬の製品化、発展・発信を達成することができました。

高校生という立場で、外部の大人の方や企業と関わり商品開発をしていくという、大人になってもなかなか体験できないような貴重な経験を数えきれない程させてもらえる授業でした。
今回この課題研究にご協力してくださった美食一心様、コラボ活動をしてくださったZIP-FMの皆様、班一同心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

高校生の焼物語
～焼き物で解決する環境問題～

是非聴いてみてください！